



残したい
音

風景

不変のリズム。

鉄路に刻んで百十余年。

【嵐電らん でん（京福電気鉄道）】

一九一〇年、現在の四条大宮駅から嵐山駅を結ぶ路面電車が登場し、いつしか嵐電の愛称で呼ばれるようになりました。

地元の人々に愛され、観光客に親しまれながら、越えた時代は明治、大正、昭和、平成、そして令和――。

どれほど時が流れても、媚びず、たゆまず、同じリズムで走り続ける小ぶりの車両が、この町にはあり続けました。

喜びにも悲しみにも分け隔てなく寄り添いながら、嵐電は今日もたくさんの人と想いを乗せて、京都を走っています。



スマートフォンで読み取ると「嵐電(京福電気鉄道)」の音色が楽しめます。
携帯電話のご利用マナーにご協力ください。

 **京都中央信用金庫**

